

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 16 No.3 2014年2月15日号

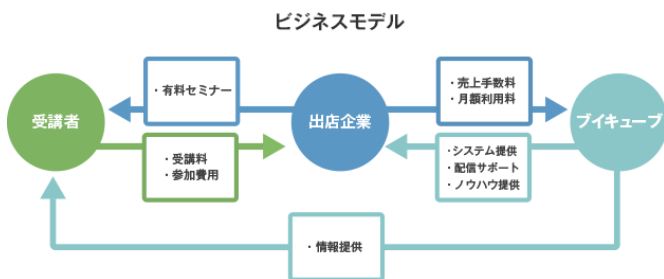
問い合わせ：cnar@cnar.jp ホームページ：<http://cnar.jp>

Copyright 2014 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

■ブイキューブ、課金型ライブ配信マーケットプレイス「V-CUBE マーケット」を発表

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、新規サービスとして、オンラインで講座やセミナーを提供できる、課金型ライブ配信「V-CUBE マーケット」を発表。(2月4日)



V-CUBE マーケットのビジネスモデル、利用イメージ、対象セミナー(ブイキューブ資料)

今回提供を開始するV-CUBE マーケットは、Webセミナーのライブ配信に加え、会員管理や決済システムなどを備えた、ライブ配信型のマーケットプラットフォーム。

V-CUBE マーケットでは、「V-CUBE セミナー」を使ったWebセミナーを開催できる。事業者(=出展企業)は、V-CUBE セミナーを利用することで、自社のセミナーや教育

コンテンツのライブ配信を行える。

Webセミナーを有料で開催するために必要な決済機能が利用できるとともに、告知ページの作成、予約受付、会員管理、受講管理など課金型Webセミナーサービス提供に必要な機能を全て提供する。ブイキューブは、年間およそ2万回のWebセミナー配信で得たノウハウを出展企業となる事業者提供に提供する。

事業者は、有料で受講した受講者の人数に応じた成果報酬による課金形態をとっており、これにより、大企業だけでなく、中小企業の事業者でも、Webセミナーを利用した新しいサービスを開始できる機会が増えると同社では考えている。

今後、オンライン英会話などで利用が可能な1対1型サービス、ゼミ形式で複数人が議論しながら受講できるN対N型サービスも提供していく予定。

■NEC ネットズエスアイ、通話料のみで電話会議が行えるサービス「ココ de カイギ」の提供を開始

NEC ネットズエスアイ株式会社(東京都文京区)は、通話料のみで電話会議が行えるサービス「ココ de カイギ」の提供を開始する。(2月6日)

ココ de カイギは、基本利用料無料で「いつでも、どこでも、すぐに」始められる事前予約不要の電話会議サービス。すでに使用している電話機から通話料のみで利用できる。

複雑な申込手続きはなくメールアドレスと任意のパスワードを入力してすることで、無料でアカウントを作成し、会議IDと暗証番号を即時発行する。一度発行した会議IDは何回でも利用可能。

専用の番号に電話をかけて会議番号を入力するだけで電話会議サービスを利用できるようになっている。また、有料のオプションとして、時間指定で確実に予約したい場合は、

「予約電話会議」サービス、参加者(たとえば顧客との電話会議)の通話料が気になる場合は、「フリーダイヤル電話会議」サービスも利用できる。料金の支払はすべてクレジット決済。

予約電話会議サービスは、通話料に利用料金。1会議あたり10回戦まで一律1,050円(2時間以内)。その後は1時間あたり525円が加算される。

一方、フリーダイヤル電話会議サービスは、必要などときに必要な分だけフリーダイヤル回線を予約できる。ただし、通話料については主催者負担(事前決済)となる。

利用開始までの流れは、以下の通り。(1)メールアドレスとパスワードでアカウントと会議IDを即時発行する。ひとつのアカウントで最大30個まで会議IDを発行できる。(2)会議参加者にアクセス番号と会議IDを連絡。会議発行後にシステムから届くメールを利用可。(3)電話会議を開催:1会議IDで最大20回線まで利用可能。加えて連続通話は最大24時間まで対応している。なお、一度発行した会議IDで何回でも利用可能だ。



ココ de カイギ管理画面イメージ(通話中)(NEC ネットズエスアイ 資料)

会議進行中の機能としては、参加者状況の確認、会議モードの選択(電話会議/プレゼンモード/Q&Aモード)、参加者待機モード(主催者のみ発言)、会議室ロック、入退室チャイム、全ミュート/解除、個別ミュート、録音(オプション)、強制終了、主催者へ切り替え(参加者⇄主催者)、簡易電話帳、会議履歴(過去6か月)、がある。これらの機能は、

Webによるココ de カイギ管理画面から利用が可能となっている。なお、一部機能は電話端末からも操作できる。

NEC ネットズエスアイでは、「Life Mail Voice」や「プレミアムサービス」などの音声サービスを提供しており、IP電話技術を活用したネットワーク・サーバなどプラットフォームの開発を行ってきた。今回、それらの既存プラットフォームを活用することで、無料でサービスを提供することになった。

■アイ・ティー・エックス、シャープ製タッチディスプレイ「BIG PAD」のレンタル開始

アイ・ティー・エックス株式会社(東京都港区)は、シャープビジネスソリューション株式会社(東京都港区)と提携し、2月6日より、タッチディスプレイ「BIG PAD(ビックパッド)」の長期レンタルサービスを開始する。(2月6日)

BIG PADは、画面上をスマートフォンのようにタッチ操作することで、表示内容の拡大や縮小、ページ送りができる。プロジェクトやホワイトボードに代わってPCなどの画面を表示できる大画面タッチディスプレイ。

アイ・ティー・エックスは、自社で提供するWeb会議サービス「MORA Video Conference(モーラビデオカンファレンス)」のユーザを中心に、遠隔会議やプレゼンテーションの利用ニーズがある製造、流通、IT企業、教育、医療、介護事業社等にBIG PADを展開していく考え。

レンタルする機種は、60V型・70型・80型の3種類でレンタル期間は1年・2年・3年。レンタル料金は、本体・フロアスタンド・インターフェース拡張ボード・設置設定・保守費込みで23,000円/月(税別)より。購入金額(同社販売価格60V型で955,000円(税別・保守契約別))に比較し、導入検討がしやすいという。

なお、同社では、MORA Video Conferenceを契約すると、BIG PADを含む、Web会議利用に欠かせない音響映像機器、スピーカマイク、カメラなどのプレゼントキャンペーンを開催している。(2月6日現在情報)

■NTT コミュニケーションズの「Arcstar UCaaS」、 欧米におけるプラットフォーム開設

NTT コミュニケーションズ株式会社(東京都千代田区)は、企業向けクラウド型ユニファイドコミュニケーションサービス「Arcstar UCaaS」の新たなプラットフォームを欧州および米国に開設し、2月3日より運用を開始する。(2月3日)

日本を含む世界 3 拠点でプラットフォームを開設することにより、低遅延で信頼性の高いコミュニケーションサービスをグローバルかつスピーディに提供する。グローバルシームレスなコミュニケーションを実現したいというニーズが背景になる。クラウド型ユニファイドコミュニケーション基盤を海外にも設置、運用するのは日本国内の事業者として初めて。

特長と導入効果。(1)各地域内の Arcstar UCaaS 設備を使用することで通信の遅延を大幅に抑えることが可能。欧州や米国から日本国内の通信設備を経由すると、回線の状況などにより数秒の遅延が生じるケースが想定されるため。

(2)Arcstar UCaaS では欧州内の通信設備に個人情報に格納することができるため、欧州の個人情報保護規制にも対応可能。欧州では、個人情報保護に対する意識が高まり、EU データ保護指令などにより、個人情報を EU 域外の通信設備で保持することが規制されるケースがある。

(3)グローバル規模の BCP やディザスタリカバリーを実現。万一いずれかの拠点で災害や事故が起きた場合にも、別のプラットフォームを介して Arcstar UCaaS を利用できる。

なお、Arcstar UCaaS は、NTT コミュニケーションズがグローバルに提供するアプリケーション、クラウド基盤、ネットワークなどの ICT サービス・ソリューションと組み合わせることが可能という。

ビジネス動向-国内

■エムスリーとブイキューブ、医療分野における ビジュアルコミュニケーション開発・提供の合弁 会社設立

エムスリー株式会社(東京都港区)および株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、医療分野におけるビジュアルコ

ミュニケーションプラットフォームの開発・サービス提供を行う合弁会社設立について合意し合弁契約を締結したと発表。(2月5日)

エムスリーは、m3.com に登録する医療従事者を対象とした情報提供サービスを行っている。またブイキューブはビジュアルコミュニケーション事業者として、国内トップシェア。

日々多忙を極める医師など医療従事者と数多くのコミュニケーションを図りたい製薬企業などにとって、いつでも、どこでも、だれでも活用できるビジュアルコミュニケーションプラットフォームの重要性はますます高まっている。

そういった背景から、この度、両社は合弁会社を設立することになった。ブイキューブが提供しているビジュアルコミュニケーションサービスを基に、製薬企業や医療機関・医師といった医療分野におけるすべての関係者がコミュニケーションできる次世代のプラットフォーム開発とサービス提供を進めていく。

合弁会社名は、エムキューブ株式会社。所在地はエムスリー本社と同一(東京都港区赤坂)。設立日は、3月1日(予定)、資本金は 2,500 万円(予定)。出資比率はエムスリー 51%、ブイキューブ 49%。

技術動向-国内

■日本電信電話、手持ちのスマートフォンをテレビ電話・テレビ会議の拡張マイクとして使える 技術を開発

日本電信電話株式会社(東京都千代田区)は、手持ちのスマートフォンでワイヤレスマイク機能を簡単に実現する「振幅スペクトルビームフォーマ技術」を開発したと発表。(1月29日)

Wi-Fi 接続されたスマートフォンから送信される遅延の異なる複数の音声信号を適切に混合し、聞き手が聞き取りやすい高音質な音に補正する技術。遅延やサンプリング周波数の違いの影響を受けにくい特長量を用いた音源分離やソフトウェアライブラリによる導入のシンプル化などによってこの技術を実現した。

振幅スペクトルビームフォーミング技術を組み込んだアプリをスマートフォンにインストールするだけで、スマートフォンがワイヤレス拡張マイクとして機能する。したがって、導入には特別なハードウェアを必要とせず、既存のテレビ電話やテレビ会議装置のソフトウェアアップデートを通じて導入することが可能。

今後、NTT では、2014 年中に、NTT グループ企業を通じて、まずは既存のテレビ電話やテレビ会議などのシステム（ソフトウェアアップデートで対応可能なシステム）に対して、今回発表された技術の導入を目指していく。さらに、専用端末を必要とせずにスマートフォンを複数台連携させるだけで実現できる音声会議、パソコンを用いた Web 会議などへの応用、ビデオカメラや IC レコーダなどの音声収録への応用などへも展開を働きかけていくとしている。

製品・サービス動向-海外

■ Google 社、ビデオ会議システム「Chromebox for meetings」を発表、マルチデバイス、Vidyo 技術で H.323 接続、UberConference で電話接続も可能

Google 社(米、カリフォルニア州)は、ビデオ会議システム「Chromebox for meetings」を発表した。(2月6日)

Chromebox for meetings 本体には、Chrome OS をベースとした Chromebox に、「Google+ Hangouts」と「Google Apps」を搭載している。Chromebox for meetings 端末のほか、ノートパソコン、タブレット、スマートフォン、専用会議端末なども交えて 15 人までのテレビ会議が行える。



Chromebox for meetings 利用イメージ(Google 社 資料)

また、ノートパソコンの画面をワイヤレスで共有したり、

Google Apps の Google Calendar から直接、会議の招待や会議室の設定などが行える。ダイヤルインコードやパスワード、PIN なしで会議は簡単に始められるようになっている。

一方、Chromebox for meetings 端末を持っていない場合は、Gmail のアカウントで会議へ招待・参加できるようになっている。また、既存のテレビ会議システムへの接続は Vidyo 社から提供するツールを使い、電話から接続する場合は、米 UberConference から参加できるようになっている。

今回発表された Chromebox for meetings 本体の価格は 999 米ドル。モデルは ASUS 製だが、数か月以内には HP 製や Dell 製も発売される。インテル社第 4 世代 Intel Core i7 に、HDMI やディスプレイ端子、USB3.0 ポートを装備する。その他、イーサネットと内蔵のデュアルバンド WiFi 802.11 a/b/g/n も搭載。

本体以外には、HD カメラ(1080p)、マイクスピーカー(一体型)、リモコン(qwerty キーボード搭載)が付いている。セットアップは数分で行え、会議を管理・運営するための Web ベースのマネージメントコンソールも提供される。

2014 年内には、オーストラリア、カナダ、フランス、日本、ニュージーランド、スペイン、イギリスでも発売する。

ビジネス動向-海外

■ Tely Labs 社、販売強化の一環として 3 名の担当副社長の任命、ファーウェイ、ポリコム、Teliris 各社経験者、2014 年の販売拡大を狙う

Tely Labs 社(米、カリフォルニア州)は、販売強化の一環として 3 名の担当副社長の任命を発表した。(1月28日)

Rob Claus 氏は、アメリカ&カナダ セールズ担当副社長に就任。前職は、Huawei 社でアメリカチャネルセールス&マーケティング担当副社長。またその前は、ポリコム社でディストリビューションチャネルセールス担当副社長。

Daniel LeCour 氏は、アジア太平洋&ラテンアメリカ セールズ担当副社長兼ジェネラルマネージャに就任。前職ではポリコム社で、ポリコムグローバルサービス 戦略的アライアンス ディレクター。その前は、Envox Worldwide 社やイン

テル社での経験がある。

Amit Walia 氏は、欧州・中東・アフリカ セールズ担当副社長兼ジェネラルマネージャに就任。前職は Teliris 社で、新興市場(emerging markets)担当サービスディレクター。またその前は、ポリコム社で、新興市場担当ディレクター。

プレスリリースに引用されていたフロスト&サリバンのによると、Tely Labs 社は、小規模ルームシステム市場(small/secondary conference room systems market)においてリーディングメーカの地位を獲得している。2013 年は同社にとって市場シェアを大きく拡大させた年となった。今回の就任を契機に 2014 年の販売をさらに拡大させたい考えだ。

■パットン社の「SmartNode VoIP メディアゲートウェイ」が、マイクロソフト社から「Lync 2013 認定」を受ける

パットン・エレクトロニクス・カンパニー社 (Patton Electronics, 米メリーランド州) は、同社の「SmartNode VoIP メディアゲートウェイ」が、マイクロソフト社の「Lync Server 2013」との相互運用性において適用条件を満たしたと発表。(ビジネスワイヤ:1月29日)

マイクロソフト社の Unified Communications Open Interoperability Program(UCOIP)において、Lync Server 2013 との相互運用性テストを受けた結果によるもの。

レガシーの PBX、電話、スピーカー、ポケベル、ファックス装置、既存の FXS/FXO POTD サービス、ISDN BRI/PRI ラインの維持を希望する企業に対して、SmartNode がマイクロソフトのユニファイド・コミュニケーション・ソフトウェアとシームレスかつ確実に相互運用されることを保障するものという。

■アルカディン社、NTT コミュニケーションズグループに参画

アルカディン社(Arkadin、フランス・パリ)は、NTT コミュニケーションズ株式会社(東京都千代田区)がアルカディン社の株式の大半を取得したことを発表。取得手続きは 1 月 21

日実施された。(2月5日)

NTT コミュニケーションズは、この株式取得により、アルカディンのサービス基盤やカスタマーサポートを活用し、グローバルコラボレーションサービスの提供を拡充する。また、アルカディンの成長力やグローバルな顧客基盤を活用し、クラウド型のユニファイドコミュニケーションや会議関連サービスを中心に、トータルコミュニケーションサービスをさらに強化する。

アルカディン社(設立 2001 年)は、電話・ウェブ・ビデオ会議およびユニファイドコミュニケーションサービスといったコラボレーションサービスのすべてを取り揃えている。日本を含め世界 32 개국 52 拠点のグローバルネットワークは「お客様の身近に」のポリシーを体現するものという。各国にはローカル言語に完全対応の専用チームがおり、世界約 37,000 社の顧客にサービスを提供している。

今後は、NTT コミュニケーションズのグループ企業として、総合的なコラボレーションとユニファイドコミュニケーションサービスを提供していく。

日本の窓口は、アルカディン・ジャパン株式会社(東京都港区)。大阪市に関西営業所もある。

関連:定期レポート 2013 年 8 月 15 日号

■Teliris 社、ポリコム社との戦略的パートナーシップ

Teliris 社(米、ニューヨーク州、設立:2001年)は、ポリコム社との戦略的パートナーシップを発表した。(2月7日)

Lantaris プラットフォームをベースにクラウド型ビデオマネージドサービスとテレプレゼンスソリューションを提供する Teliris 社は、「Polycom service provider」として、ポリコム製の「PrealPresence」コラボレーションソリューションのフルラインナップを取り扱う。

また、Lantaris プラットフォームと Teliris Access Portal によって、Teliris 社のテレプレゼンスシステムのほかに、ポリコム端末のスケジューリング、レポーティング、シングルログインなどが簡単に行えるようになるとしている。

さらには、Teliris 社がポリコム社より、ポリコムのコーデックのライセンスを受けることになる。コーデックは Teliris 社の次世代 7G プラットフォーム(next generation 7G platform)に組み込まれるようだ。

なお、今回発表された、ポリコム端末向けのマネージドサービスはすでに開始されており、ポリコム社コーデックを搭載した 7G システムは 2014 年第 2 四半期から提供予定となっている。

セミナー・展示会情報

<国内>

■後悔しない Web 会議を選ぶために事前チェックすべき「6 つのポイント」セミナー

日時:2月17日(月)15:30~17:00

会場:キヤノンソフトウェア本社(東京都品川区)

主催:キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込:<https://reg.canon-soft.co.jp/public/seminar/view/127>

■【“見える”カレッジセミナー in 大阪】iPad や TV 会議も繋がる V-CUBE のウェブ会議は簡単・便利！～工場現場も海外オフィスも自由につながります～

日時:2月18日(火)14:00~15:30 (受付13:30~)

会場:AP 大阪駅前梅田1丁目(大阪市北区)

主催:ブイキューブ株式会社

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/106>

■Polycom Day『生産力をあげるビデオ会議:製造業向けソリューションのご紹介』製造業界での導入事例や活用シーンを含め、デモンストラーション

日時:2月26日(水)15:30~16:30 (受付:15:30)

会場:ポリコムジャパン セミナールーム

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

■【“見える”カレッジ】営業マネジメントセミナー～状況判断・対策策定・指導力を強化する方法～

日時:2月27日(木)14:00~16:30 (受付13:30)

会場:ブイキューブ 本社(東京都目黒区)

主催:株式会社ブイキューブ

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/122>

国内その他:<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他:<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

* イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNA Report Japan アーカイブ電子ブック版

>2003年-2012年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2013年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/ebook/

電子ブック制作:カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNA Report Japan 情報発信について

CNA レポート・ジャパン(橋本啓介)が行っている情報発信は、以下から行っています。

定期レポート(15日・月末発行):各社からのプレスリリース、橋本による直接取材による記事

Dtc-forum メーリングリスト、フェイスブック&Twitter(それぞれほぼ毎日配信):遠隔会議関連の国内外の情報。橋本がインターネットを通して収集したさまざまな情報(収集は毎日。方法は、検索、RSS、ポータルサイト、ブログ、メディア、youtube、プレスリリース、メルマガなど)。

遠隔会議について、プレスリリース以外のさまざまな情報を得たい場合は、dtc-forum やフェイスブック、Twitter をおすすめします。詳細は、<http://cnar.jp> をご覧ください。

配信している情報は、遠隔会議のトレンドを知る上で国内外を問わず大事な動きであろうと思われるものを配信しております。ご自身の情報収集と合わせてご利用いただければと存じます。

編集後記

今号もお読みいただきありがとうございました。

次号もよろしく願い致します。

CNAレポート・ジャパン 橋本啓介